

「鍵をかけない」人も「訪問を無視」する人も増加

～2年間で防犯意識に変化は？ ネット上の防犯意識は？～

国内1,500社超が利用する日用品流通の情報基盤を運営する株式会社プラネット（所在地：東京都港区、代表取締役社長：坂田政一）は消費財や暮らしにまつわるトピックスをお届けする『Fromプラネット』の第231号として、防犯対策に関する意識調査（対象4,000人）の結果をご紹介します。未掲載のデータ提供や当社担当者が解説を差し上げることができますので、お気軽にお問い合わせください。

※回答率(%)は小数点第2位以下を四捨五入し同第1位までを表示しています。そのため、内訳の合計と表示値が異なる場合があります。

■ 鍵をかけない若者が増えている？

今回は防犯意識に関する意識調査を実施しました。（前回は2023年3月に調査を実施。Vol.202。）

自宅にいるとき、玄関に鍵をかけているか、という質問（図表1上）に対して、「常にかける」は74.5%、「常にかけない」人は8.2%でした。

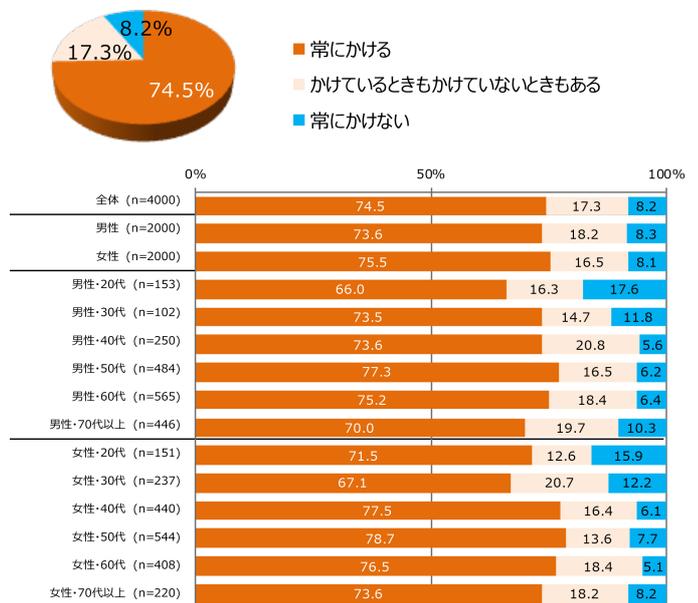
2年前の調査と比較すると（図表1下）、「常にかける」割合が2ポイント低下しています。

「常にかけない」と答えた人を性年代別に見ると、「男性・20代」だと、13.1%から17.6%に上昇、「女性・20代」も10.5%から15.9%に上昇しています。

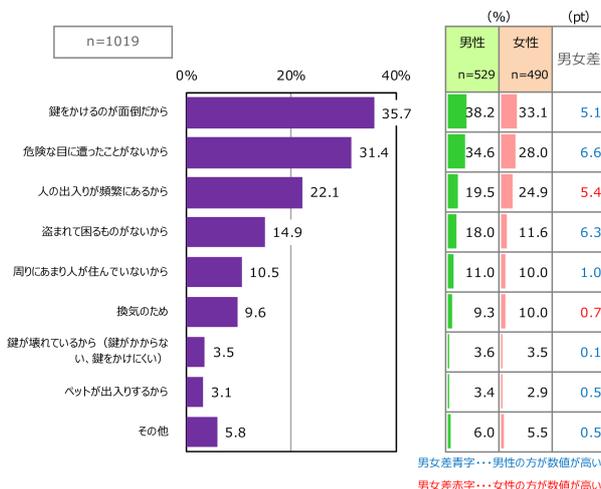
また、「女性・30代」は3.9%から、12.2%と、すべての年代のなかで、最大の上がり幅になっています。

玄関に常に鍵をかける人以外に、鍵をかけない理由を聞くと（図表2）、最も割合が高いのが「鍵をかけるのが面倒だから」（35.7%）、続いて「危険な目に遭ったことがないから」（31.4%）、「人の出入りが頻繁にあるから」（22.1%）、「盗まれて困るものがないから」（14.9%）という順になりました。

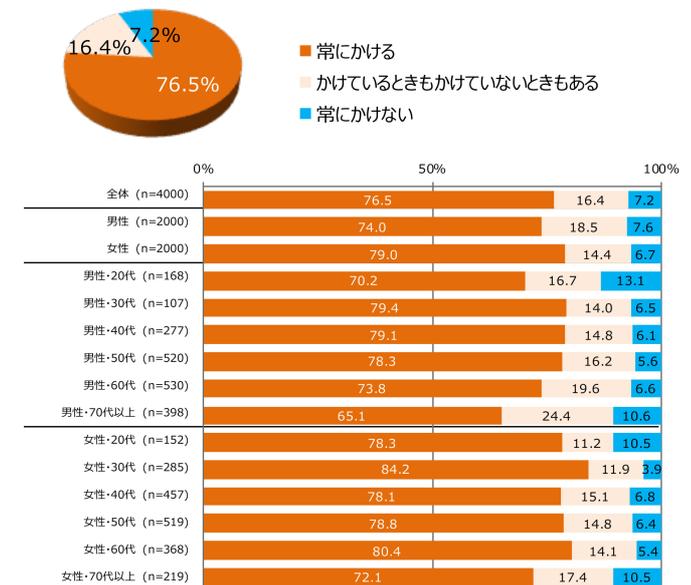
図表1 「あなたは普段、自宅にいるとき、玄関に鍵をかけますか。最も近いものを教えてください。（お答えはひとつ）」への回答



図表2 「あなたが玄関に鍵をかけない理由を教えてください。（お答えはいくつでも）」への回答



2023年3月の調査



■ 近所付き合い、してますか？

近所付き合いがあると、周りの異変に気が付きやすいものですが、近所付き合いをしているかを聞くと(図表3)、「ほとんど近所付き合いはない」と回答した割合が43.8%と、半数近くでした。

また、近所に住んでいる人の顔がわかるかという質問に対しては(図表4)、「まったく知らない」と回答した割合は23.0%でした。「ほぼ全員を知っている」という人の割合は14.7%ですが、年代が上がるほど、顔見知りの比率も上がる傾向があり、「70代以上」では30.5%となります。

この2つの質問から、「近所の人を知らないわけではないが、付き合いと言えるほどの関係はない」という人が多いことが伺えます。

■ 「知人以外の訪問は無視」が増加

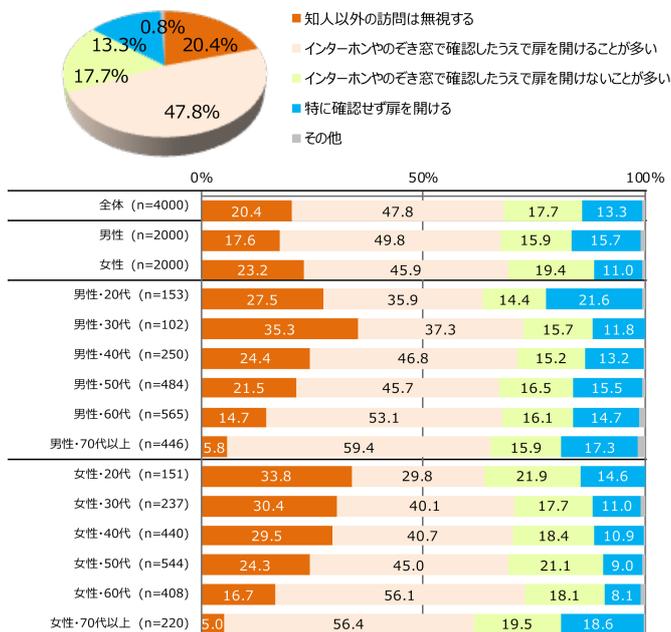
知人以外が自宅を訪問したときに、どのように対応するかを聞くと(図表5左)、最も割合が高かったのは「インターホンのぞき窓で確認したうえで扉を開けることが多い」(47.8%)で、次が「知人以外の訪問は無視する」(20.4%)でした。

2023年の調査(図表5右)と比べると、「インターホンのぞき窓で確認したうえで扉を開けることが多い」や「特に確認せず扉を開ける」と回答した人の割合はあまり変わっていません。

ところが、「知人以外の訪問は無視する」と回答した人が約6ポイント増え、「インターホンのぞき窓で確認したうえで扉を開けないことが多い」は約7ポイント減っています。

「知人以外の訪問は無視する」と回答した人は70代以上を除き、全年代で増えています。特に「男性・30代」は2年前から約15ポイント、「女性・30代」は約10ポイント上昇しており、30代の増加幅が最も大きくなっています。

図表5 「あなたは知人以外が自宅を訪問した場合、どのように対応しますか。最も近いものを教えてください。(お答えはひとつ)」への回答



図表3 「あなたは普段、近所付き合いをしていますか。(お答えはひとつ)」への回答

	全体	かなり密な付き合いをしている	そこそこの付き合いをしている	あまり付き合いはない	ほとんど付き合いはない
全体	4000	2.3%	24.2%	29.6%	43.8%
年代別					
20代	304	5.9%	14.8%	18.1%	61.2%
30代	339	3.5%	10.9%	28.6%	56.9%
40代	690	1.6%	15.7%	25.7%	57.1%
50代	1028	1.3%	17.5%	29.6%	51.7%
60代	973	1.1%	29.4%	36.0%	33.5%
70代以上	666	4.2%	47.0%	30.3%	18.5%

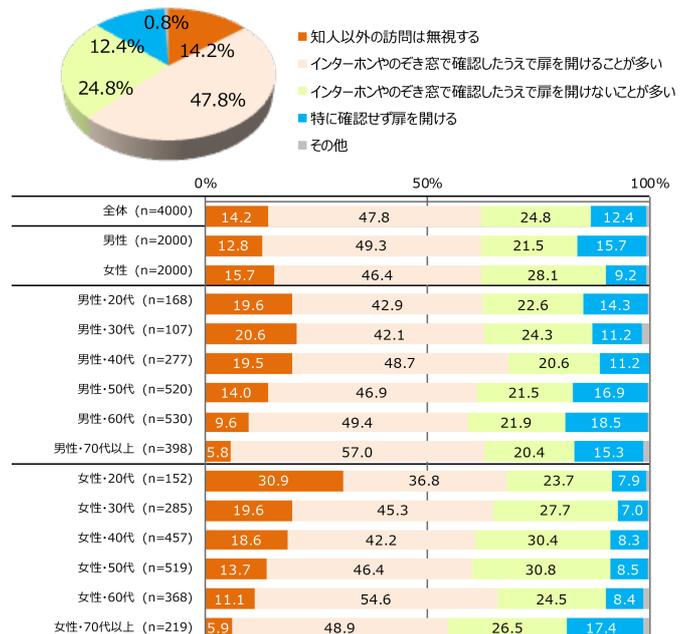
項目ごとに最も割合の高い年代を赤字で、低い年代を青字で表示

図表4 「あなたは隣接する家や周囲の家の住人の顔を知っていますか。最も近いものをお答えください。(お答えはひとつ)」への回答

	全体	ほぼ全員を知っている	半分以上は知っている	半分未満しか知らない	まったく知らない
全体	4000	14.7%	24.2%	38.1%	23.0%
年代別					
20代	304	8.6%	17.1%	29.3%	45.1%
30代	339	7.7%	13.0%	41.0%	38.3%
40代	690	8.1%	20.1%	40.4%	31.3%
50代	1028	10.6%	21.3%	40.8%	27.3%
60代	973	17.4%	29.2%	42.7%	10.8%
70代以上	666	30.5%	34.5%	27.3%	7.7%

項目ごとに最も割合の高い年代を赤字で、低い年代を青字で表示

2023年3月の調査



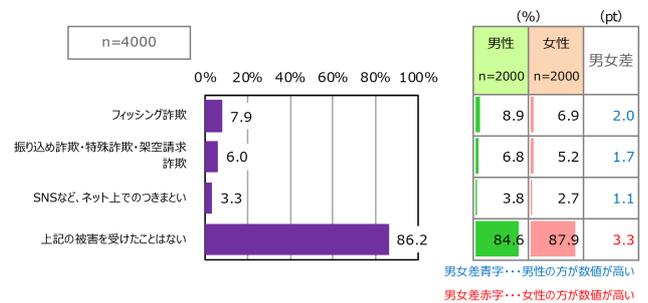
■ ネットや新手法の詐欺、被害を受けた人の割合は？

空き巣や強盗のほかにも、振り込め詐欺、架空請求詐欺のような新手法の犯罪や、ネット上でのトラブル・犯罪も世間を騒がせています。

犯罪被害を受けたことがあるかを聞くと(図表6)、「フィッシング詐欺」は7.9%、「振り込め詐欺・特殊詐欺・架空請求詐欺」は6.0%、「SNSなど、ネット上でのつきまとい」は3.3%の人が経験していました。

なお、「SNSなど、ネット上でのつきまとい」については、性年代別で最も経験した割合が高いのは、「男性・20代」の11.8%でした(図表不掲載)。「男性・20代」は「フィッシング詐欺」と「振り込め詐欺・特殊詐欺・架空請求詐欺」のどちらも10.5%が経験しており、ほかの年代と比べて割合が高くなっています。

図表6 「あなたは、これまでに以下の犯罪被害を受けたことはありますか。(お答えはいくつでも)」への回答



■ SNS、乗っ取りやスパムの被害はどのくらい？

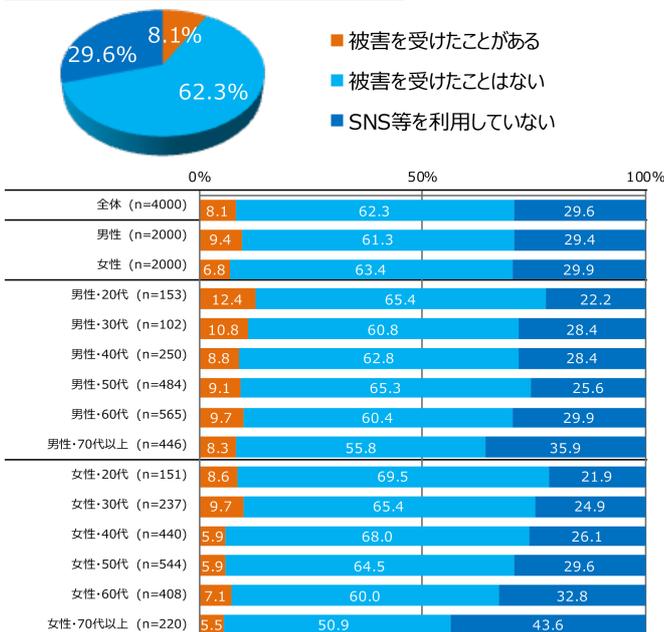
SNSでの乗っ取り被害を受けたことがあるかを聞くと(図表7)、「被害を受けたことはない」が62.3%、「被害を受けたことがある」は8.1%でした。

「SNSを利用していない」と回答した人は29.6%でしたが、逆に言うと、約7割の人はSNSを利用していることになります。70代以上においても、利用している人の割合は半数を越えています。

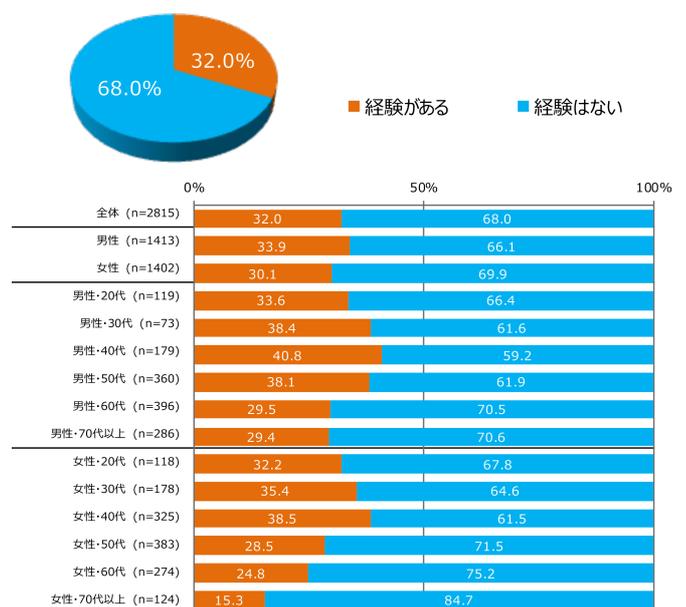
SNSを利用している人に、スパムと思われるアカウントから友達申請を受けたり、フォローされたりした経験があるかを聞くと(図表8)、「経験がある」が32.0%、「経験はない」が68.0%でした。

男女ともに「経験がある」人の割合は40代をピークに、山なりになっています。対策をしっかりしているからなのか、使っているSNSなどの種類によるものなのかわかりませんが、年代が上の人たちの「経験がある」割合は、40代と比べると低くなっています。

図表7 「あなたは、これまでに不正にログインされた、身に覚えのないメッセージが他人に送られた、など、SNS (Facebook、X、Instagramなど) の乗っ取り被害を受けたことがありますか。(お答えはひとつ)」への回答



図表8 「あなたは、これまでに SNS 等で、スパムと思われるアカウントから友達申請を受けたり、フォローされたりした経験はありますか。(お答えはひとつ)」への回答



■ ネットやSNS経由で犯罪に巻き込まれないために

ネットやSNSにまつわるトラブルから身を守るため、皆さんはどんな対策をしているでしょうか。「怪しいメールは全て廃棄」「怪しい投資の話は着信拒否」と、「完全に遮断」という人もいれば、「怪しいものは調べる」という人も。ただ、手口がどんどん巧妙になっているので、自分で調べるのにも限界があるかもしれません。周りから見れば詐欺だとわかって、「自分が巻き込まれるはずはない」という油断が被害を生むこともありそうです。

《ネットを介した犯罪被害に遭った経験、被害を避けるためにしていること》

【嫌な思いがトラウマに……。】

- SMSで有名人に成りすました人が、「本当の連絡先を教えたい」といってかなり怪しいサイトを紹介されたことがある。(サイトの使用料金としてお金も請求してきた。) 完全に無視をして被害はなかったが、妙な連絡が届く恐怖がまだ残っている。(女性・20代)
- 中学生の頃、クリック詐欺のサイトから退会メールを送ってしまったり、面識のない男性から性的な画像やメッセージが送られてきたりしたことがある。(女性・20代)

【詐欺被害に遭った人、寸前で回避した人】

- 普段使っているクレジットカードの更新が近いとメールが来て、間違えてクリックした結果、被害にあった。使われた金額は少額だったし、返金もされたが、今は気をつけるようにしている(女性・40代)
- 園芸サイトで植物の苗を注文したが、架空のものだった。決済後にサイトにアクセスできなくなり、詐欺とわかって警察に通報した。金額が千円程で済んだのが不幸中の幸いだったが、海外から作っているサイトで「何もできない」と言われ、悔しい思いをした。(女性・30代)
- 同居している70歳の父親がXに趣味の絵を載せていたところ、海外のアカウントから買い取りたいとDMがあった。父親は全く疑わずテレグラムや暗号資産のアプリなどをスマホにインストールさせられた。暗号資産のアプリに急に700万円が振り込まれ、「現金化のために15万円を振り込んで欲しい」と言われたあたりで、母親がさすがにおかしいと疑い始め、その段階で初めて自分に相談された。急いですべてアンインストールさせ、Xも退会させた。幸い金銭的な被害などは発生しなかったが、あからさまな詐欺に父親が簡単に騙されてしまったのがショックだった。(女性・30代)

【SNSで被害に遭った!】

- SNSがきっかけですごく大変なストーカー被害にあいました。その方は逮捕されました。(女性・40代)
- 友人がネットストーカーの被害に遭い、警察に相談しているが、解決のきざしがなかなか見えないのでとても心配している。(女性・40代)
- 国際ロマンス詐欺と思われるメールやマッチングが毎日のようにたくさん届く。(女性・50代)
- ロマンス詐欺で500万円程度の大被害に遭った。(男性・40代)
- ラインのアカウントを乗っ取られたことがあり、それ以降、あまりSNSには熱心でない。(男性・60代)

【SNSでの防犯対策】

- 近所の写真などあげない。リアルタイムでどこにいるかなどは投稿しない。(女性・40代)
- 写真を載せる時は加工を外せないように加工した写真をさらにスクショして上げるようにしている また、反射して背後がわかるような写真を上げないようにしている。(女性・30代)
- 見たことのあるようなアカウントからのメールでも怪しいと感じたら開かずに、プロバイダへ報告している。SNSでもDMやリプライなどで知らない相手からのアクションは無視して、運営会社へ報告している。(女性・50代)
- X以外のSNSは非公開にして閲覧のみ。暗証番号やクレジットカード番号を聞いてくるメールには答える前に企業に確認する。セキュリティソフトをPCとスマホで使用。知らない電話番号には出ない(女性・60代)
- スпамと思われるアカウントは、何もコンタクトを取らずにすぐ通報するようにしている。(男性・20代)

《 「防犯対策」に関する意識調査 質問一覧 》

- 【クロス集計用】 1. あなたは普段、近所付き合いをしていますか。(お答えはひとつ)
- 【クロス集計用】 2. あなたは隣接する家や周囲の家の住人の顔を知っていますか。最も近いものをお答えください。(お答えはひとつ)
- 【クロス集計用】 3. あなたが住んでいる地域は治安がいいと感じていますか。(お答えはひとつ)

- Q1. あなたは普段、自宅にいるとき、玄関に鍵をかけますか。最も近いものを教えてください。(お答えはひとつ)
- Q2.あなたが玄関に鍵をかけない理由を教えてください。(お答えはいくつでも)
- Q3.あなたの自宅はどのような防犯対策をしていますか。(お答えはいくつでも)
- Q4.あなたは知人以外が自宅を訪問した場合、どのように対応しますか。最も近いものを教えてください。(お答えはひとつ)
- Q5.あなたは自宅から最寄りの交番・警察署の位置を把握していますか。(お答えはひとつ)
- Q6.あなたは警察の「巡回連絡カード」に記入したり、警察の戸別巡回に回答したりしたことがありますか。(お答えはひとつ)
- Q7.あなたは、これまでに以下の犯罪被害を受けたことはありますか。(お答えはいくつでも)
- Q8.あなたは、これまでに不正にログインされた、身に覚えのないメッセージが他人に送られた、など、SNS (Facebook、X、インスタグラムなど) の乗っ取り被害を受けたことがありますか。(お答えはひとつ)
- Q9.あなたは、これまでにSNS等で、スパムと思われるアカウントから友達申請を受けたり、フォローされたりした経験はありますか。(お答えはひとつ)
- Q10.ネットを介した犯罪に対して、あなたが気を付けていること・心配なことや、実際の被害経験などを教えてください。(自由回答)

調査機関：株式会社プラネットによる調査企画をもとに、株式会社ネオマーケティングにて「防犯対策」に関する意識調査を実施。

期間：2025年3月4日～3月5日、インターネットで4,000人から回答を得ています。

株式会社プラネットとは <https://www.planet-van.co.jp/>

メーカー、卸売業、小売業がサプライチェーンとして連携し、生活者へのサービス向上を目指して進化を続ける日本の消費財流通を、情報インフラ運営で支えている上場企業(証券コード2391)です。

From プラネットとは https://www.planet-van.co.jp/news/from_planet.html (バックナンバーもご覧になれます)

株式会社プラネットが発信しているニュースレターです。消費財や暮らしに関する旬なトピックスなどをご紹介します。

本件に関するお問い合わせ先

今リリースに掲載していない結果や属性データのご紹介や、当社担当者が解説を差し上げることもできます。

株式会社プラネット 経営管理ユニット

E-mail : koho-pr@planet-van.co.jp